

LAMP® 上吊式引戸 FD35EV

上ローラー木口面付仕様

施工説明書 品番：FD35EVHMP

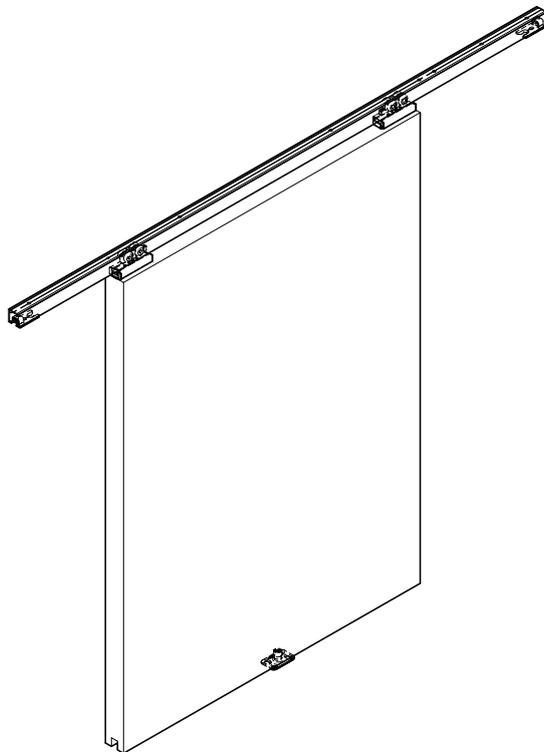
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 一般住宅だけでなく、店舗や施設にも使用可能な室内用の上吊式引戸金物です。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	1200 mm 以下	700 ~ 1200 mm
扉厚	22 mm 以上	
扉質量 (1 枚当り)	35 kg 以下	
扉上下調整範囲	下方に 4 mm	



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	---	---

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

部品一覧

No.	①		②	③	④
品名	上レール(面付用)	上レール(掘込用)	上ローラー面付用	上キャッチ面付用	下ガイド
品番	FD35EV-TRM	FD35EV-TRH	FD35EV-WRM	FD35EV-TRM-HTST	FD50-BGR18
部品	 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm		 2ヶ	 2ヶ	 1ヶ
付属品	-		十字穴付き皿タッピンねじ 4 × 40...3ヶ	-	十字穴付き皿タッピンねじ 4 × 20.....4ヶ
備考	推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 3.5 × 25		-	-	-

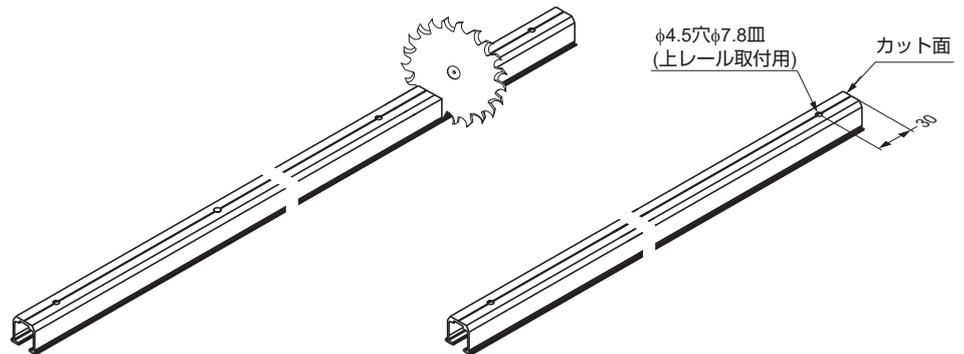
オプション	No.	⑤	⑥	⑦
	品名	扉下側埋込みガイドレール	スパナ面付用	上レール用クリーナー
	品番	FD30-HRBT1500SIL	FD35EV-WRM-SP8	FD30-TRC
	部品	 穴ピッチ: 250mm ピッチエンド: 30 mm		
	付属品	-	-	-
備考	推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 4 × 20	-	-	

取付手順

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

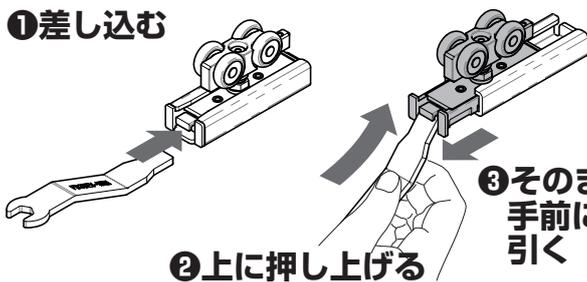
1 レールの切断と穴加工

注意
レールが変形しないように補強材などを入れて切断してください。



2 扉への部品取付け

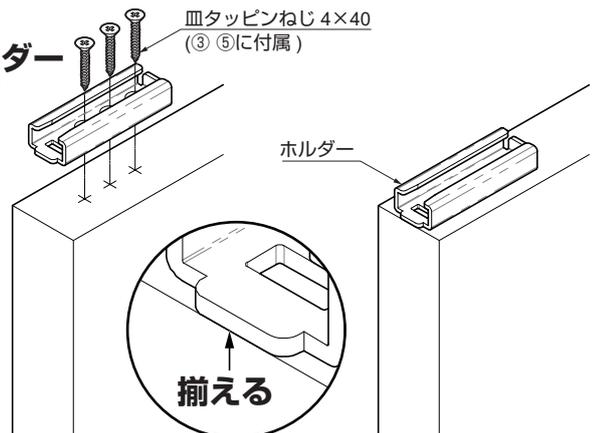
① 差し込む



② 上に押し上げる

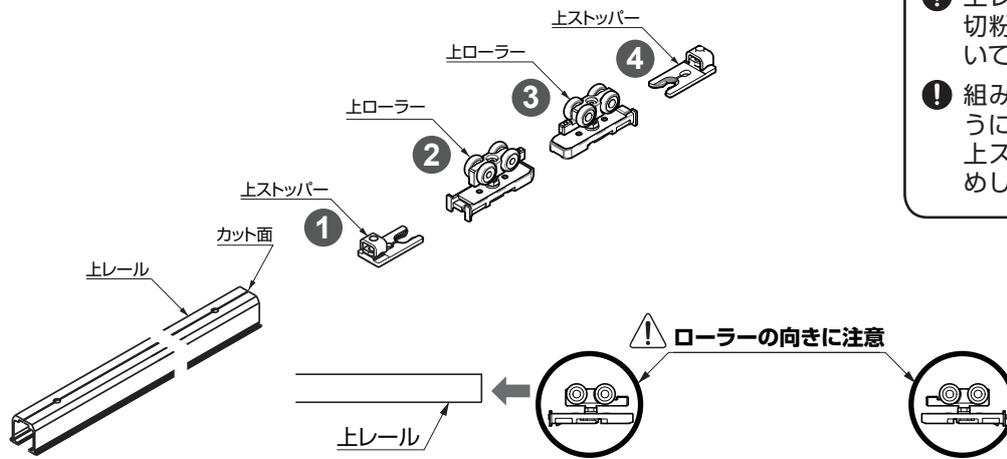
③ そのまま手前に引く

④ 扉端面とホルダー端面を揃えて取り付ける



3 上レールへの部品の組み込み

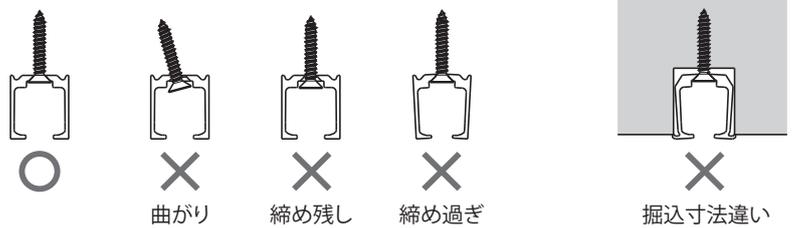
各部品の向きに注意し、①～④の順番で組み込む。



- 注意**
- ① 上レール内のゴミやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。
 - ② 組み込んだ部品が落ちないように、上レールと上ローラー、上ストッパーをテープで仮止めてください。

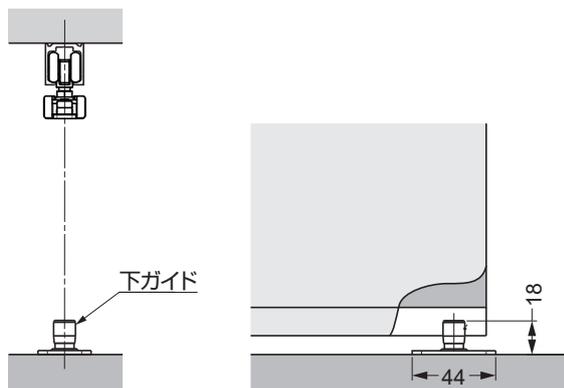
4 上レールの取付け (推奨ねじ：十字穴付皿タッピンねじ 3.5×25：お客様手配)

- 注意**
- ① ねじの締め過ぎやねじ頭の出っ張りに注意してください。レールが変形し、扉の動きに支障をきたします。
 - ② ねじを繰り返して付け外ししないでください。接合部が弱くなり、ねじの出っ張りやレールの垂れ下がりにつながります。

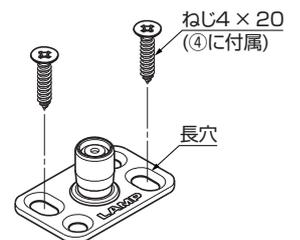


5 下ガイドの取付け (仮止め)

上レール中心の真下、かつ下ガイドの凸部が扉から外れない位置に取り付ける。

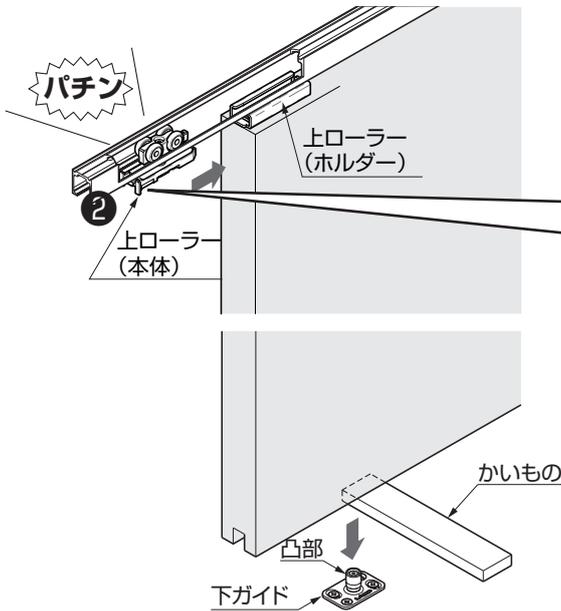


付属ねじで長穴2箇所を仮止めする。

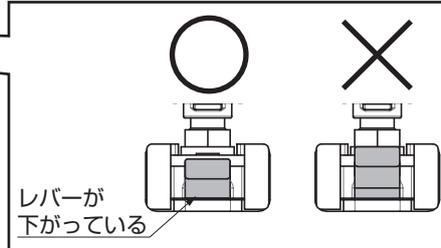


6 扉の吊込み

- ① 扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。
- ② 上ローラーを、クリック音がするまで差し込む。



注意
上ローラー（本体）がホルダーから外れないか確認してください（戸先、戸尻両面）

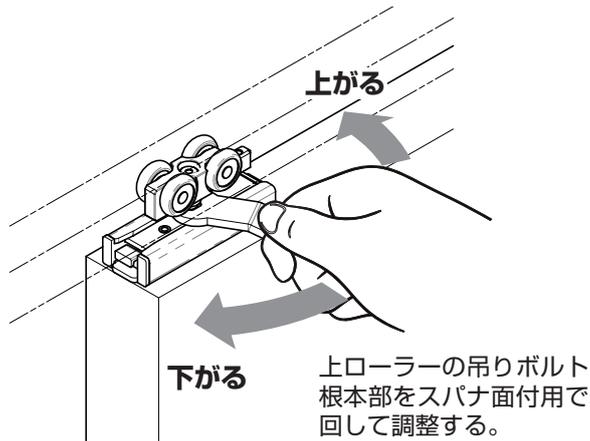
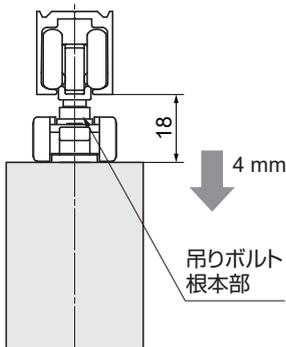


7 扉の上下調整

扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~10 mmになるように調整する。

- 注意**
- 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。

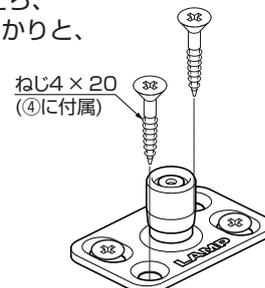
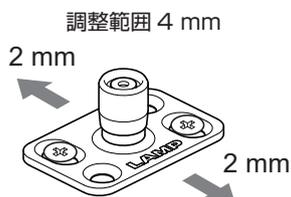
調整範囲：4 mm



8 下ガイドの調整・固定

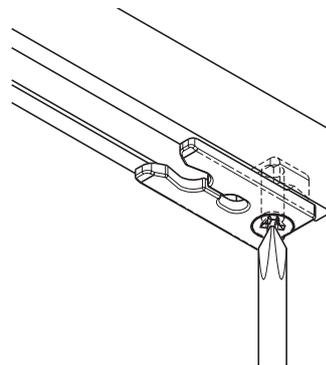
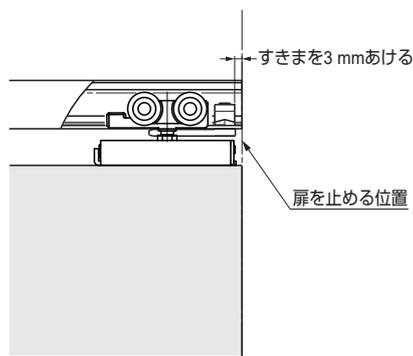
扉を開閉した時、扉と下ガイドの抵抗が大きい場合、扉を外し、固定ねじを緩めて位置を調整する。

位置が定まったら、4ヶ所ともしっかりと、ねじ止める。



9 上キャッチの位置固定

上キャッチを扉を止めたい位置から、3 mm手前で固定する。
扉をゆっくり動かして閉めたときに、扉が縦枠（もしくは戸当り）に接触すると同時に上キャッチが上ローラーの軸部に掛かる位置に調整する。



注意
ねじを締めすぎないでください。
部品が変形するおそれがあります。

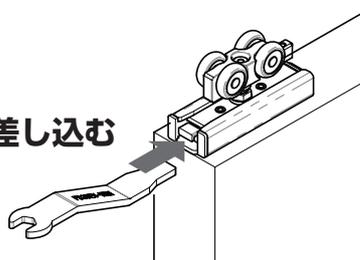
以上で基本的な取付・調整は終わりです。

補足 1 扉の外し方

扉の下に10 mmのかいものを挟む。

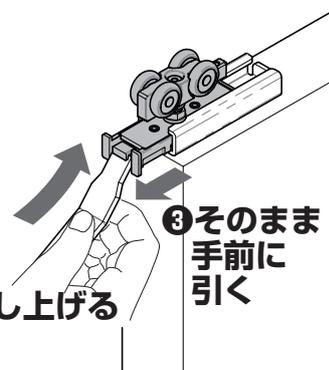
注意
扉を倒さないよう注意してください。

①差し込む



スパナ面付用の凸部を上ローラーのレバー部に差し込みます。(マイナスドライバーなどでも代用可能)

②上に押し上げる



③そのまま手前に引く

定期点検

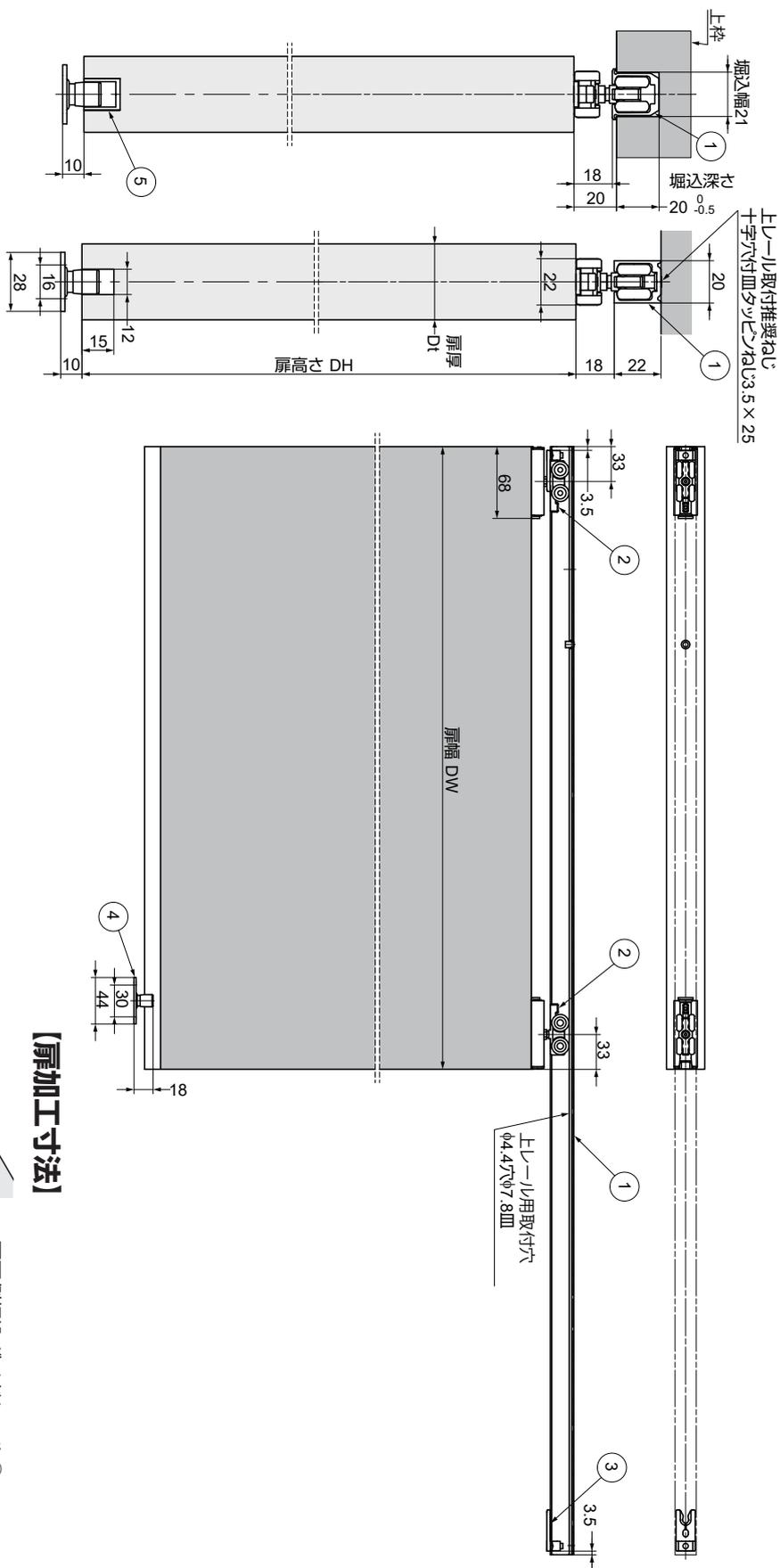
- ・レール内を掃除してください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。

困ったときの対応

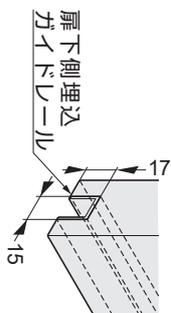
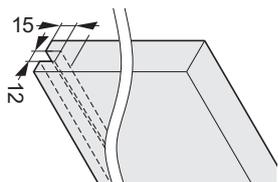
症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後扉の高さ調整をし、床面と扉下面とのすき間が6～10 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように下ガイドの位置を調整してください。
	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後扉の高さ調整をし、床面と扉下面とのすき間が6～10 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように下ガイドの位置を調整してください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉が勝手に開閉する。	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。
上キャッチがうまく機能しない。	正しい上キャッチが取り付けられていますか。	FD35EV-WRM 上ローラー面付用には、FD35EV-WRM-HTST 上キャッチ面付用をご使用ください。FD30-HTST 上キャッチを使用すると、上ローラーの吊りボルトの違いで正しくキャッチできません。

上レール掘込用

上レール面付用



【扉加工寸法】



扉下側埋込ガイドレール^⑤
(推奨オアション)を使用する場合

扉下側埋込
ガイドレール

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問
合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail : support@sugatsune.co.jp